

統計研修講義計画書

研修課程	マイクロデータ分析 (R による統計解析)	講義科目	マイクロデータ分析の実際	講義時間	6 コマ
講師	古田 裕繁 元 UNSIAP 講師				

※ 1 コマ 70 分

講義のねらい

- 世帯標本調査の疑似マイクロデータを用いて、マイクロデータ分析の手順を学ぶ。
- その後、グループ演習で、与えられた課題に基づいて、クロス表などを作成し、習った知識・技能を確実なものとする。
- ①ウェイトを適切に用いて、クロス表を作成できること、および、②主要な結果について、適正に標本誤差の評価ができることを目標とする。

指導項目と内容

指導項目	内 容
1 世帯標本疑似マイクロデータを用いた分析の実際	<ul style="list-style-type: none"> ● データチェック (例、関連チェック) ● データの再構成 (例、世帯ファイルと個人ファイルのマージ) ● 新規変数の作成 (例、個人ファイルから世帯レベル変数の作成) ● 集計表作成の TIPS
2 グループ演習	<ul style="list-style-type: none"> ● 3～4人のグループで、与えられた課題に基づいて、上記マイクロデータの分析を行う。 ● 結果のプレゼンテーションと質疑を行う。 ● 講師から講評を行う。

講義形態 指導方法	パワーポイントを用いた講義と討議 3～4人のグループによるグループ演習
受講に必要な 基礎知識等	統計調査の経験+統計に対する熱意+アルゴリズム (物事のやり方) に関する興味